

医歯工法プロ 学生フォーラム「基礎研究を垣間見て」を開催

令和5年11月9日(木)に金沢大学医薬保健学域医学類3年生の学生16名が、研究発表の経過報告を行う会と合同で、医歯工法プロの学生フォーラムを開催致しました。金沢大学医学類では、3年生の秋学期に基礎医学系研究室で研究活動に取り組む「基礎配属」というカリキュラムがあります。本科目を通して基礎研究の一端に触れた学生に、基礎医学の研究者が少ないという現状を踏まえ、より多くの研究者が活躍するにはどのような方策が必要と考えるか、意見を出し合い学生提言をまとめてもらいました。

はじめに金沢大学医薬保健研究域医学系血管分子生理学教室の内藤 尚道 教授から、「医学系基礎研究の魅力」と題してミニ講演を行って頂きました。基礎医学研究に関する一般論や、本学の基礎医学研究の紹介、そして内藤教授がこの道を歩まれた過程を背景と共にご紹介いただき、基礎医学の魅力について語っていただきました。



続いて学生達が基礎配属期間で携わった研究について、各研究グループに分かれて内容や結果を報告しました。

この後、医学類3年生の矢後 七阜さんの司会で、基礎研究に対するイメージや基礎研究を経験して感じたこと、基礎研究医を増やすためにはどうすればよいかということについて、学生達で議論しました。最終的に「基礎研究医増加に向けた学生提言」として、

基礎研究医増加に向けた学生提言

若い層に向けて発信の仕方、内容を変える
医学展・講演会
基礎研究医は地味ではない。チーム 学会

基礎研究に触れる機会を増やす(医学生)

国に向けて
設備・賃金・研究費

- ① より若い世代に対し、講演や体験を通して医学系基礎研究の魅力を伝える。
- ② 医学生が基礎研究に触れる機会を増やす。
- ③ 国に対して研究設備や研究費の充実、研究者の待遇改善を期待する。

との意見を取りまとめました。

最後に、金沢大学医薬保健研究域医学系血管分子生物学教室の山本 靖彦 教授が、海外における医学系基礎研究者の社会的評価の高さや、知的財産創出等に関連した経済的な成功などを紹介し、医学系基礎研究の多面的な意義について伝え、学生諸君へ期待と声援を送り、本会は盛会のうちに幕を閉じました。

